

# 入間基地災害対処拠点施設等の 整備に関するお知らせ

---

## 土壌調査結果報告

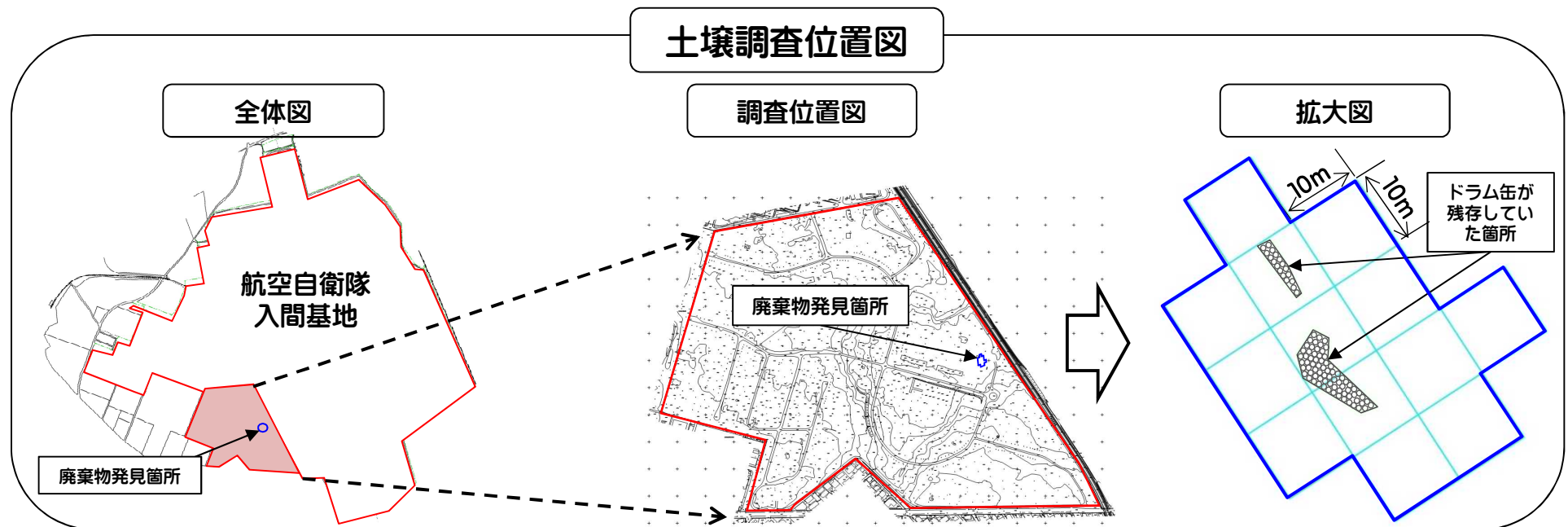
平成31年3月6日  
北関東防衛局

# 土壌調査結果の概要

北関東防衛局は、平成30年12月13日、工事中に発見された廃棄物（ドラム缶）にポリ塩化ビフェニルとベンゼンが確認されたこと、また、これらの物質が当該エリアの土壤に及ぼしている影響を調査するため、現地の土壌調査を実施することをお知らせしました。

今般、これらの土壌調査結果が明らかになりましたのでご報告致します。なお、**ポリ塩化ビフェニルとベンゼンについては、周辺の土壤から検出されませんでした。**

今回実施した土壌調査の詳細及び今後の対応について、以降に示します。



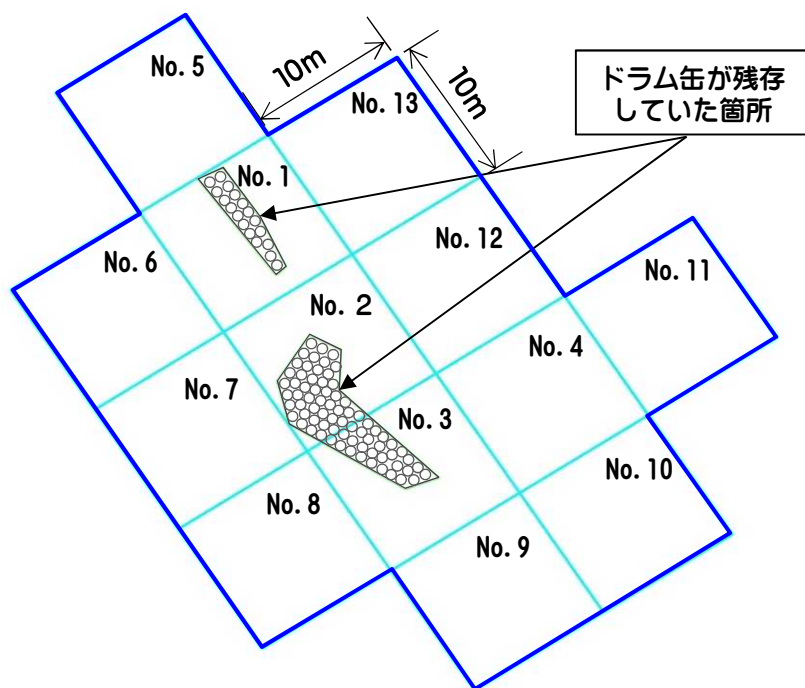
# 土壌調査の範囲及び手順

調査方法については、土壌汚染対策法に基づき実施しました。

## 土壌調査範囲

調査範囲は、廃棄物の発見された箇所及びその周辺を範囲として13区画を設定。（1区画は、10m×10mを示す）

※調査範囲については、関係機関（埼玉県）と調整し決定。



※No. 1～No. 13 調査管理ナンバーを示す

## 土壌調査の手順

### ①概況調査（13区画）

○ガス分析  
（第一種特定有害物質）  
土壌中のガスを採取し  
分析

○土壌分析  
（第二・三種特定有害物質）  
地表面から50cmまでの  
土壌を採取し分析

基準値

以上

未満

### ②詳細調査

基準値以上の物質を検出した区画において、各々深さ方向の調査を実施

調査終了

※分析項目（4頁参照）

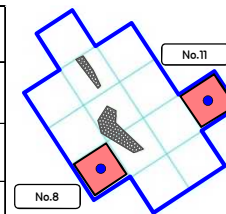
- ・第一種特定有害物質（揮発性有機化合物）：12項目
- ・第二・三種特定有害物質（重金属等・農薬等）：14項目

# 土壌調査(概況調査)の結果

廃棄物発見箇所の周辺における全13区画の土壌調査(概況調査)の結果、ポリ塩化ビフェニルとベンゼンは検出されませんでした。

他方、今回の調査では、No.8、No.11の2区画から、基準値を超えた鉛が検出されました。

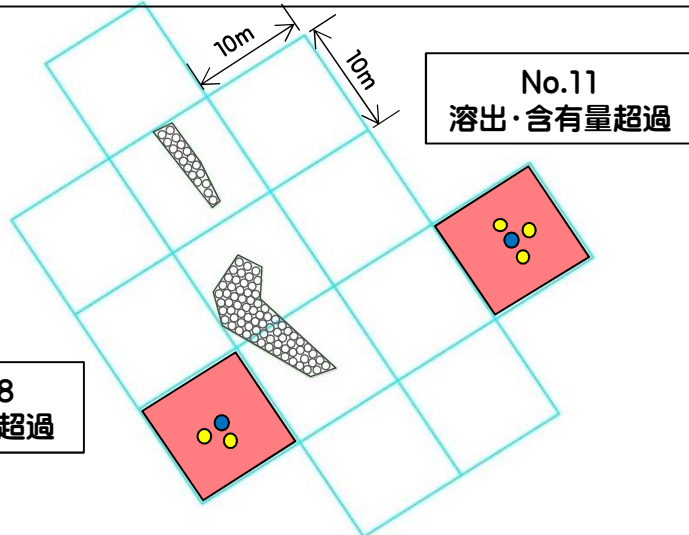
分類	試験項目		基準値	単位	基準値超過箇所数	分類	試験項目		基準値	単位	基準値超過箇所数		
第一種特定有害物質(ガス分析)	四塩化炭素		不検出	ppm	0	第二種特定有害物質(土壌分析)	水銀及びその化合物	溶出量	0.0005	mg/L	0	測定値	
	1,2-ジクロロエタン				0				アルキル水銀不検出	mg/L	0	No.8	No.11
	1,1-ジクロロエチレン				0			含有量	15	mg/kg	0		
	シス-1,2-ジクロロエチレン				0		セレン及びその化合物	溶出量	0.01	mg/L	0		
	1,3-ジクロロプロペン				0			含有量	150	mg/kg	0		
	ジクロロメタン				0		鉛及びその化合物	溶出量	0.01	mg/L	1	基準値未滿	0.012
	テトラクロロエチレン				0			含有量	150	mg/kg	2	950	180
	1,1,1-トリクロロエタン				0		砒素及びその化合物	溶出量	0.01	mg/L	0		
	1,1,2-トリクロロエタン				0			含有量	150	mg/kg	0		
	トリクロロエチレン				0		ふっ素及びその化合物	溶出量	0.8	mg/L	0		
	クロロエチレン				0			含有量	4,000	mg/kg	0		
	ベンゼン				0		ほう素及びその化合物	溶出量	1	mg/L	0		
					0			含有量	4,000	mg/kg	0		
第二種特定有害物質(土壌分析)	カドミウム及びその化合物	溶出量	0.01	mg/L	0	第三種特定有害物質(土壌分析)	シマジン		0.003	mg/L	0		
		含有量	150	mg/kg	0		チオベンカルブ		0.02	mg/L	0		
	六価クロム化合物	溶出量	0.05	mg/L	0		チウラム		0.006	mg/L	0		
		含有量	250	mg/kg	0		ポリ塩化ビフェニル		不検出	mg/L	0		
	シアン化合物	溶出量	不検出	mg/L	0		有機りん化合物		不検出	mg/L	0		
		含有量	50	mg/kg	0								



# 土壌調査(詳細調査)の結果

今回の土壌調査(概況調査)において、基準値を超える鉛が検出された2区画(No.8、No.11)について、土壌汚染対策法に基づき、詳細調査を実施しました。

基準値以上の鉛が検出された区画(2区画)



- 概況調査により鉛が確認された地点  
(このため詳細調査を実施)
- 絞り込み調査地点  
※鉛の汚染範囲を特定するために概況調査位置の周辺5地点で調査を実施
- 今回の調査において対策する区画

5地点の全てで基準値未満であったことを確認。この結果、この鉛の周囲への広がりは一時的なものと判断。

詳細調査内容

この2区画については、地表面から50cmの範囲の土壌から鉛が検出されたことから、深度方向の影響を確認するため、深さ10mまで1m毎に調査を実施。

詳細調査結果

No.8		No.11		
深さ(m)	含有量(mg/kg)	深さ(m)	溶出量(mg/L)	含有量(mg/kg)
	基準値 150		基準値 0.01	基準値 150
1.0	基準値未満	1.0	基準値未満	基準値未満
2.0				
3.0				
4.0				
5.0				
6.0				
7.0				
8.0				
9.0				
10.0				

1.0m以上深い土壌からは、基準値を超える鉛は確認されませんでした。結果、深度方向の対策は、1.0mまで実施。

土壌対策方法

No.8とNo.11において、各々、面積100㎡(10m×10m)、深さ1.0mの範囲の土壌を場外搬出処分予定。  
※絞り込み調査による汚染範囲縮減は実施しない。

## 今後の対応について

---

今回の土壌調査結果により、廃棄物の成分分析で確認されたポリ塩化ビフェニルとベンゼンについては、検出されませんでした。

他方、今回No.8とNo.11の2区画から基準値を超える鉛が確認されましたが、これらについては、関係機関との調整の上、関係法令に則り、適正に場外へ搬出処分することとしています。

また、前回（平成30年12月13日）お知らせした廃棄物（ドラム缶）については、適切な場外の処分場へ出来る限り早急に搬出処分する計画です。

引き続き、入間基地災害対処拠点施設等の整備にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。